



コピーライター
近藤 マリコ

コピーライター、プランナー、コラムニスト。工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、現代アートや芸術全般、日仏文化比較、紀行文などのテーマを主に手掛ける。やっぴくめ文化祭ディレクター。

このほかにも…



夏期限定 ささらがた 5個セット1,404円(税込)～
デザインとモチーフが季節ごとに変化する、ひと口サイズのささらがた。夏はパイナップル・すいか・白桃・レモンの爽やかな味わいが揃っている。絵画のような美しい仕上がりにため息が。



氷室の氷 1,782円(税込)

氷に見立てた涼やかな夏限定の干菓子。梅肉・生姜・ミント・柚子・氷砂糖の5種類の味があり、透明感のある色とシャリシャリした食感まで涼しげ。パズルのように組み合わせられている姿がいかにも可愛い。

両口屋は清 本町店

中区丸の内3丁目14-23
052-962-7011
営業時間：9:00～18:00
定休日：日曜・元日
<http://www.ryoguchiya-korekiyo.co.jp>

一目置かれる名古屋の手土産セレクション

企業訪問をする際に、気の利いた手土産を持っていけば、相手に喜んでいただけるだけでなく、そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。シーンに応じて使えるさまざまな名古屋の手土産を紹介します。

vol.3 両口屋は清

“老舗のチャレンジ”と“涼感”を贈る。



アイス千なり(あずき・バニラ・抹茶)
取扱店舗：百貨店および直営店
※バラ売りは直営店のみ(本町店・栄店・東新町店・八事店・東山店・名駅地下街店・エスカ店)
10個入：4,428円(税込)
バラ：356円(税込)

名古屋には、江戸から続く和菓子の老舗が数多くありますが、その中でいちばん長い歴史を持つのが両口屋は清。そのルーツは初代尾張藩主・徳川義直のころに遡ります。二代尾張藩主・光友の時代に「御菓子所 両口屋は清」の看板をいただいたそう、名古屋城に献上した時に使われていた五段の重箱「通笥」を、同店業店で見ることが出来ます。この400年近い老舗企業は、令和を迎えてもチャレンジを忘れません。看板商品である千なりに、夏の限定バージョンが登場しています。

きっと誰もが一度は食べたことがある千なり。甘く香るふわふわの皮に、丁寧に炊かれた美味しいあずきがはさまれて、ひとくち頬張ると、一気になつかしい気持ちになるから不思議です。この千なりの皮にアイスクリームをはさんだのが「アイス千なり」です。この皮に合うように、アイスクリームは甘さを控えめにしているそう。特に、千なりと同じあずきを使っているあずき味は、バニラ・あずき・皮のハーモニーが黄金比ともいえるバランスです。老舗のチャレンジ精神というメッセージをこめて、涼感とともに手土産にしてみたいかがでしょうか。